

2007年(平成19年)12月9日(日曜日)

言
賞
新
聞

三重大学内駅伝復活 35チーム快走

三重大の教授らが企画した「第1回三重大学内駅伝大会」が8日、津市栗真町屋町の三重大で開かれた。

農学部(生物資源学部の前身)時代に行われていた駅伝大会を復活させようと、生物資源学部の取出伸夫教授と大学生協の職員らが中心となり、実行委員会を結成した。学内外から参加者を募ったところ、研究室や同好会、応援団、地元の中学校などから計29チーム約180人と三重大陸上部から6チームが参加。1チーム3～8人で、1周2.5キロのキャンパス内コースを7周し、陸上競技場のゴールを目指した。

津市立橋北中の陸上部が1位でゴールし、取出教授が学生たちとつুক্তチーム「走ろう会 うさぎ組」は2位となった。取出教授の研究室に所属し、10月からメンバーとキャンパス裏の浜辺を走って練習してきた同学部3年、星野隆文さん(21)は「みんなで力を合わせてのゴールは気持ちいい」と汗をぬぐっていた。取出教授は「今後、学外からも広く参加を募り、地域の人たちと一緒に汗を流せる大会にしていきたい」と話している。大会の最後には、参加者全員で「来年もやろう、駅伝大会」と声を合わせ、大会の継続を誓った。



たすきをつなく選手